

中東・オリエント地域における武力衝突をめぐる声明

私たち、一般社団法人日本オリエント学会会長、理事一同は、2026年2月28日のイスラエルと米国によるイラン攻撃とそれに対する反撃に端を発する武力衝突について深く憂慮し、下記の声明を発するものです。

古代から現代にいたる長い歴史を有する中東・オリエント地域を研究する様々な分野の専門家の集団として、私たちは今般の事態によって亡くなったすべての方々に深い哀悼の意を表します。また、心身に傷を負い、なお苦難にさらされているすべての方々に寄り添いたいと望みます。

私たちは、いかなる勢力によるものであれ、すべての暴力の行使が直ちに停止され、生命の危機にさらされている人々に平安な日常がおとずれ、きわめて困難な状況に置かれているすべての人々に援助の手が差し伸べられることを要請します。

にわかには解きほぐしがたい歴史の積み重ねの上に今回の武力衝突があることを認めた上で、それでもなお、私たちはすべての関係勢力に和解に向けた行動を起こすことを期待します。そして、すべての人々に対し、問題の解決に向けて自らに何ができるかを考え、行動することを希望します。

とりわけ日本政府には、わが国が国是とする平和主義の原則に立脚した、公正な視点からの毅然とした外交努力が十全になされることを要請します。

私たちは、中東・オリエント地域を研究対象とする学会として、また個々の研究者として、人類の将来にとって決定的な岐路となりかねない今日の事態を前に、自らの知見を活かして何ができるかを真剣に検討し取り組むことを約束します。

2026年3月24日

日本オリエント学会会長・理事一同

本声明はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 改変禁止 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。

(C) 2026 一般社団法人 日本オリエント学会